

ことば村ニュース



2019年10月

「ことば村ニュース」はイベント会場で配布しています。HPでもご覧いただけます。

台風の影響が続く各地の被害が伝えられています。みなさまにはお変わり無くいらっしゃいますか。2月のシンポジウムの準備も進んでおります。これからの活動、どうぞご予定ください。

●ことばのサロン

★10月のサロン「創作の中のアイヌ語—『アイヌ文化で読み解く「ゴールデンカムイ」』を題材に」

話題提供：中川裕先生（千葉大学教授）

日時：10月12日（土）午後2時—4時30分

会場：慶應義塾大学三田キャンパス 441 教室

台風19号のため中止。新日程は改めてお知らせします。

人気の漫画「ゴールデンカムイ」の監修者でもある、アイヌ研究第一人者の中川先生を迎え、創作の中でアイヌ文化がどう扱われるのかを考えます。

★11月のサロン「イラン・イスラム共和国理解のために—テヘラン下町のホセインの追悼儀礼から」

話題提供：谷憲一先生（一橋大学大学院）

日時：11月16日（土）午後2時—4時30分 会場：慶應義塾大学三田キャンパス 441 教室

最近のニュースの焦点のひとつ、イラン・イスラム共和国。その国について、体験に基づく実感ある紹介を聞き、イランについての理解を深めるサロンです。

★12月のサロン「ある外交官OBのつぶやき—ローマ法王とバチカン」

話題提供：上野景文先生（元杏林大学客員教授／元バチカン全権大使・メルボルン総領事）

日時：12月21日（土）午後2時—4時30分 会場：慶應義塾大学三田キャンパス 441 教室

上野先生には7月のサロンでマヤ文化と日本文化について外交官OBの体験を踏まえお話いただきましたが、第266代ローマ教皇フランシスコの11月23日～26日の来日に合せ、7月サロンの続編として世界文化の万華鏡、バチカンとローマ法王について12月にお話を聞きます。乞うご期待！

●今年度シンポジウムの準備着々と

2020年2月22日（土）、「海を越えて日本語の中で生きる人たち」シンポジウムは日本に暮らし、母語ではない日本語で活動している方々を迎え、二言語の狭間で見えてくることばの面白さ、奥深さを考えます。パネリストの選定など目下検討中。ことば村らしい、大切なことを楽しく語れる場になることでしょう。

●「日本の童話」スペイン語版・ポルトガル語版の広がり。

3月末に改訂版が出版されたポルトガル語版「日本の童話」は、ブラジル人労働者支援センターを通じて220セットがブラジル各地の必要とするところに贈られ、国内の小学校からも、増加するブラジル人の子どもたちに役立てたいと希望が相次いでいます。まだ在庫がありますので、このほか活用して下さるところをぜひお知らせください。送料のみご負担いただきますが、本誌・DVDはご希望の冊数を贈呈いたします。

★ホームページに正会員投稿欄に原稿をお寄せください！

▼正会員投稿欄がホームページに設置されています！日本や世界のことばと文化について info@chikyukotobamura.org へお寄せください。みんなで活動を盛り上げて行きましょう！

▼会員の稲垣徹さん寄稿「世界の文字」紙や樹皮など書写媒体について、興味深いエッセイがスタート。

http://www.chikyukotobamura.org/muse/writing_systems.html

▼運営委員の柴田賢さん、佐野彩さんがそれぞれ留学先のことばに関する現地エッセイを寄稿中。

<http://www.chikyukotobamura.org/muse/life131030.html>

<http://www.chikyukotobamura.org/muse/life131124.html>

★ことば村ホームページ

<http://www.chikyukotobamura.org/>

★メールマガジン配信中！

毎月盛りだくさんの内容でお届け中。申込は—

<http://www.mag2.com/m/0000199577.html>